

## 「体験の風キャンプ in ゆーすぴあ（富良野編）」事業報告書

### 1 事業実施の背景

平成 25 年 1 月 2 日中央教育審議会答申「今後の青少年の体験活動の推進について(答申)」の中で「青少年の生きる力を育む体験活動の重要性が高まる中、保護者の経済力や保護者自身の経験の多寡、学校の判断によって、青少年の体験活動の機会に『体験格差』が生じているとの指摘がある」ことが言われている。

また、平成 26 年 8 月 29 日閣議決定「子供の貧困対策に関する大綱」の中では、多様な体験活動の機会の提供を行うこととされ、「独立行政法人国立青少年教育振興機構が設置する国立青少年教育施設において、児童養護施設等の子供を対象に、自己肯定感の向上、生活習慣の改善等につながる多様な体験活動の場を提供するとともに、その成果を広く全国に周知することを通じて、各地域における取組を促進する」とされている。

これを受けて、国立青少年教育振興機構のミッションの一つとして、児童養護施設、母子家庭等の生活困窮と言われる家庭における児童・生徒に対し体験活動の場を広く均等に提供し、自己肯定感の向上、生活習慣の改善等につながる事業の展開を行うため、今回の事業を実施するものである。

なお、前記の大綱の中でも謳われているように、成果の普及を図る必要性から、事業における事前・事後のアンケートの実施により成果を具体的な指標として測れるように計画した。

### 2 事業趣旨

道内の児童養護施設の子供を対象に、自己肯定感の向上、生活習慣の改善等につながる多様な体験活動を提供し、その成果を広く周知することをとおして、施設の取組を促進する

### 3 主催 独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立大雪青少年交流の家

### 4 後援 北海道教育委員会 北海道小学校校長会 北海道中学校長会 北海道高等学校長会協会 上川管内教育委員会連合会 美瑛町 美瑛町教育委員会

### 5 事業概要

- ・期日 平成 28 年 10 月 9 日(日)～10 日(月) (1泊2日)
- ・会場 国立大雪青少年交流の家
- ・対象 社会福祉法人 北海道婦人共立愛子会 児童養護施設 富良野国の子寮
- ・定員 35 名 (引率者含む)
- ・講師 渡辺 敏哉 氏 (利尻ガイドサービス)

### 6 目的の達成指標 (アウトプット)

- (1) 参加者数 33 名 (参加者 25 名、引率者 7 名)
- (2) 参加者の満足度

### 7 広報

事業の趣旨から一般募集は行っていない。交流の家では平成 26 年度から自立・生活支援キャンプを実施しているが、道内における同様の施設に広く体験活動の場を提供する意味から、これまで実施対象とした施設以外で新たに実施を希望する施設と協議を行い、対象を決定した。

## 8 参加者人員・類型

参加者 33名

内訳：幼児2名 小学生20名、中学生3名、引率者7名

## 9 事業日程・内容

### (1) 日程

10月9日		13:00	バス移動	14:00	到着式 荷物移動	15:30	焼き芋づくり	17:00	ゆいすびあ タイム	17:30	夕食	18:30	レクリエーション	19:30	明日の準備・計画	20:30	入浴	22:00	就寝
10月10日	起床	6:30	7:00	7:30	8:45	9:00	登山/ハイキング ※少雨決行	15:00	出発式	15:30	16:30	16:30	施設到着						

### (2) 概要・運営のポイント

- ・ 宿泊活動をとおし、あいさつの励行や時間を守ることで、生活習慣の向上、準備・片付けなどを自主的に行えるように、働きかけを行った。
- ・ 体験活動を進めていく中で、参加者が積極的に参加できるように働きかけを行った。
- ・ 普段では体験することが難しい体験活動を、連携施設職員と相談し、プログラムデザインすることに努めた。

### (3) 各プログラム内容

焼芋づくり	火おこしを行い、石焼芋を行います。
レクリエーション	ニュースポーツやゲームをとおし、体を動かします。
明日の準備・計画	翌日の登山・ハイキングのルートの確認や、持参する荷物・服装の確認をします。また、講師から自然の中での楽しみ方のヒントを学びます。
登山/ハイキング	講師とともに、登山・ハイキングを楽しみます。



## 10 参加者アンケートから（※小学生・中学生を対象に調査）

### (1) 総合的満足度

- ・ 満足 18 78.3%
- ・ やや満足 5 21.7%

#### (参加者の声)

- 山登り、石焼芋が楽しかった
- 石焼芋を作ったことが楽しかった。

(2) 事業のプログラム

- ・満足 22 95.7%
- ・やや満足 1 4.3%

(参加者の声)

- とくに石焼芋のプログラムが楽しかった。
- 体育館で遊ぶプログラムが楽しかった。

(3) 事業運営

- ・満足 21 91.3%
- ・やや満足 2 8.7%

(参加者の声)

- みんなと遊ぶことができとても満足。

(4) その他参加者の声

- 石焼芋が時間をかけ美味しくできたのが良かった。
- ハイキングで地蔵を数えながら歩き、楽しかった。
- ハイキングで滝がとても綺麗だった。

## 1 1 事業の成果

(事業背景の達成度)

- ・初めて体験する「ハイキング」では、期待と不安を感じていたが、「楽しかった」「良い経験ができた」といった参加者からの満足度が高かった。また、引率者からは、「普段では見られない様子を見ることができた」などの声があり、とても満足していたため「多様な体験活動の提供」という目標を達成できたと考えられる。
- ・連携施設と事業を行っていくのは、2年目となる。そのためか、以前からの関係を生かして円滑に事業を進めることが出来た。

## 1 2 事業の課題

(事業プログラムの展開)

- ・連携施設とは2年目の運営となることから、とても慣れている様子であった。子供たちも、当施設の職員の顔や名前をよく覚えており、良い関係が築けている。しかしながら、馴染みのある施設と関係が築けているからこそ、よりステップアップした指導方法や課題を持ち、プログラムを展開していくことの必要性を感じている。

